

No. 225
R5.4.20

日立市議会 だより

令和5年 第1回 定例会



3/1~3/17

【主な内容】

- 議案等の議決結果 2面
- 委員会審査の概要 4面
- 一般質問(11名が登壇) 6面
- 市議会ってなに? 12面
(市議会の役割や議員の活動などについて紹介します)



日立駅前大型商業施設は
「ヒタチエ」として生まれ変わります！

「ヒタチエ」の愛称は、多くの人々が「日立」へ集うようにという願いを込めて名付けられました。
ロゴマークは、「日立に訪れる人、集う人」の重なりをイメージし、日立市の自然「山」と「海」を表す色、デザインとしています。



議案等の議決結果

提出された議案等を3つの常任委員会及び幹線道路整備促進特別委員会で審査しました。審査の概要を4、5、11面に掲載しています。

【議案】

第1号	令和5年度日立市一般会計予算	原案可決
第2号	令和5年度日立市国民健康保険事業特別会計予算	//
第3号	令和5年度日立市介護保険事業特別会計予算	//
第4号	令和5年度日立市介護サービス事業特別会計予算	//
第5号	令和5年度日立市戸別合併処理浄化槽事業特別会計予算	//
第6号	令和5年度日立市後期高齢者医療事業特別会計予算	//
第7号	令和5年度日立市水道事業会計予算	//
第8号	令和5年度日立市下水道事業会計予算	//
第9号	令和4年度日立市一般会計補正予算(第8号)	//
第10号	令和4年度日立市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	//
第11号	令和4年度日立市介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)	//
第12号	令和4年度日立市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	//
第13号	令和4年度日立市水道事業会計補正予算(第2号)	//
第14号	令和4年度日立市下水道事業会計補正予算(第2号)	//
第15号	日立市個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	//
第16号	日立市情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について	//
第17号	日立市個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
第18号	日立市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	//
第19号	日立市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	//
第20号	日立市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
第21号	こども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	//
第22号	日立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	//
第23号	日立市デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
第24号	日立市特別養護老人ホーム設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
第25号	日立市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	//
第26号	日立市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	//
第27号	日立市郷土博物館設置及び管理等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
第28号	日立市スポーツ広場の指定管理者の指定について	//
第29号	損害賠償の額を定めることについて	//
第30号	損害賠償の額を定めることについて	//
第31号	専決処分について(令和4年度日立市一般会計補正予算(第7号))	原案承認
第32号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	推薦同意
第33号	日立市議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決
第34号	日立市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	//

【請願・陳情】

第1号	「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の請願	不採択
-----	--------------------------------------	-----

【報告】

第1号	公益財団法人日立市公園協会に係る令和5年度の経営状況に関する説明書提出について
第2号	公益財団法人日立市民科学文化財団に係る令和5年度の経営状況に関する説明書提出について
第3号	公益財団法人日立地区産業支援センターに係る令和5年度の経営状況に関する説明書提出について

議員の賛否

賛否の分かれた議案等を記載しています。そのほかについては、全員が賛成となりました。

【賛否の分かれた議案等】 賛成（採択）：○ 反対（不採択）：●

議案等の番号	日立市政クラブ					民主クラブ							公明党				ひたち未来			無会派									
	藤森結花	杉本和子	照山晃央	今野幸樹	蛭田三雄	飛田謙一	佐藤三夫	堀江紀和	豊田茂	助川悟	粕谷圭	白石敦	吉田修一	伊藤健也	青木俊一	添田絹代	篠田砂江子	下山田幹子	三代勝也	館野清道	石井仁志	伊藤智毅	白土仙三郎	永山堯康	千葉達夫	小林真美子			
議案1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●		
議案3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
議案4	○	○	○	○	※1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	
議案6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
請願1	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	

※1 議長は採決には加わりません。

※ 日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成できることになっており、議会だよりでは3人未満の場合は「無会派」と表示しています。

※ 議員氏名は、会派ごとに議席番号順で掲載しています。

Pick up!

議案紹介

議案第1号 令和5年度日立市一般会計予算

724億2,000万円

主な事業

その1 学校給食費無償化事業

5億4,385万9千円

子育て支援策及び物価高における保護者の負担軽減策として、令和5年4月から、小・中学校等の給食費を無償化します。

【負担軽減額】

小学生 42,240円／年

中学生 49,060円／年



その2 デジタル化推進事業

5,044万8千円

市内のデジタル化を推進するため、JR各駅周辺及び日立駅前新都市広場にWi-Fi環境を整備するほか、行政のデジタル化推進として、マイナンバーカードを利用して証明書を取得できるシステムを全支所に導入します。



その3 中小企業脱炭素経営促進事業

4,171万6千円

市内中小企業の脱炭素化経営への取組を支援するため、専門家による省エネ診断の受診費用や設備等の導入にかかる費用などを補助するほか、中小企業の温室効果ガス排出量の削減を支援するシステムの導入などを行います。



委員会審査の概要

市長から提出された議案などを、3つの常任委員会ですべて専門的かつ能率的に審査しました。審査内容の一部を要約して紹介します。

総務産業委員会

審査した主な議案

令和5年度一般会計予算

主な歳入

・国庫支出金（デジタル化の推進や公共施設の脱炭素化を推進する事業のほか、移住・定住促進や若者世代の活躍を応援する事業の財源など）

・県支出金（移住支援金の拡充や少子化対策に対する補助など）

主な歳出

・デジタル化推進事業費（行政及び市内地域のデジタル化の推進などに係る費用）

意見 民間の専門的知見からの提案を行政のデジタル化の施策にしっかりと反映させ、市民サービスの向上と業務の効率化が図られるよう、強力に推進してほしい。

・防災訓練推進事業費（防災士資格取得支援やコミュニティの自主防災訓練への補助）

意見 防災マップの全戸配布や、防災士で構成する組織を設置する動きもきっかけに、市民の防災意識をより高めてほしい。

議案8件（予算1件、補正予算1件、条例3件、その他3件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。



・他自治体を参考とし、中学生などの若い世代にも、防災士育成の裾野を広げてほしい。

・日立駅前活性化事業費（日立駅前大型商業施設「ヒタチエ」の管理運営委託費やイベント実施に対する補助など）

意見

施設の管理運営を民間委託した意味が薄れないよう、事業者の自助努力を働きかけ、魅力ある施設づくりにつなげてほしい。



・管理運営会社と市が一生懸命汗をかき努力することを基本として、議会としても応援してきたので、民間活力が十二分に発揮されるよう、市がしっかりと先導してほしい。

要望

ヒタチエの成功の鍵となる民間活力が最大限発揮できるよう、管理運営会社との緊密かつ緊張感を持った連携・協力関係を築くこと。出店テナントや周辺地域、関係機関等と一丸となり、各々の強みを相乗的に機能させ、にぎわいを創出し続けられる施設となるよう取り組んでほしい。

教育福祉委員会

審査した主な議案

令和5年度一般会計予算

主な歳出

・障害者福祉事業費（心身障害者の通院又は通所に要する交通費の助成）

・中里地区医療・相談体制等確保事業費（中里地区の医療体制等を維持するための補助など）

意見 タクシー料金の助成方法をチケット制に変更することで、利便性の向上や事務の効率化が期待できる。ほかの事業でも利用者の立場から改善を進めてほしい。



・地区内唯一の医療機関が閉院となった中里地区の医療環境の確保について何う。

答 最寄りの診療所を受診する際の乗合タクシーの料金を支援するほか、オンラインで保健師に健康相談ができる環境を整備する。

意見 今後も定期的に地域の方へヒアリングし、改善しながら事業を進めてほしい。

・施設整備事業費（熱中症対策として小・中学校等に冷水器を導入するための費用など）

議案20件（予算5件、補正予算4件、条例9件、その他2件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。



意見 コロナ禍で実施していたペットボトル配布事業と比べ、費用面、常に冷水が飲める点、ゴミが排出されないことなど利点が多いので、上手く運用してほしい。

・日立風流物展示施設等整備事業費（展示施設及び収蔵施設の整備のための地質調査等を行う費用）

意見 収蔵施設の整備の必要性は理解できるが、展示施設には風流物のレプリカを展示することなので、国の補助を受けることができるのか危惧される。市民への情報提供をこまめに行うなど、丁寧な対応をしてほしい。

・学校給食共同調理場費（小・中学校等の給食の食材購入費への助成など）

意見 市の調理場が対応している学校が給食費無償化の対象だが、子育て支援以外に、定住促進のための事業でもあるので、市内の私立学校や市外の学校に通う児童生徒への支援も検討してほしい。

環境建設委員会

審査した主な議案

令和5年度一般会計予算

主な歳出

・恋活応援事業費（恋活応援推進員を配置した相談窓口設置のための費用や、婚活イベント等参加費に対する補助など）

問 相談窓口はどこに設置するのか。

答 各種イベントなどで恋活応援推進員を配置した相談コーナーを設け、回数を重ねてニーズを把握したい。

意見 しっかりとPRした上で、充実した内容で実施してほしい。



・道路新設改良事業費（山側団地防災道路など市内各所の道路の新設改良のための費用）

問 新設する防災道路をどのように接続するのか。

答 みかの原団地西側から山側道路に接続する。

意見

・接続する山側道路はカーブなどの危険な箇所があるため、交通量や車両の出入りを十分に考慮してほしい。
・新設道路は、災害時だけでなく日常的に利用することが

議案8件（予算4件、補正予算3件、条例1件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。

可決

考えられるため、安全性を考えた設計を進めてほしい。

・中所沢川尻線（市道640号線）改築事業費（中所沢川尻線の改築のための測量設計及び工事を行う費用）



中所沢川尻線改築事業の現地調査

令和5年度水道事業会計予算
令和5年度下水道事業会計予算
主な歳出

・修繕費（漏水修理、管路腐食調査等のための試験掘などに係る費用）

問 管路の腐食状況を調査し補修するための試験掘は、何か所を想定しているのか。

答 27か所の予定である。

意見 予防保全の観点から試験掘は非常に有効な手段であるので、危険性の高い箇所から進め、大きな事故にならないよう整備を進めてほしい。

令和4年度補正予算の概要

■一般会計補正予算（第7号）

11億825万2千円を増額

※妊娠届や出生届を行った妊婦等に対する給付金等に関する補正予算が1月に専決処分されました。

■一般会計補正予算（第8号）

2246万4千円を減額

（予算総額808億9250万6千円）

■特別会計補正予算（7会計合計）

8億2936万3千円を減額

（予算総額498億8986万2千円）

令和5年度予算の概要

■一般会計

724億2000万円

■特別会計

497億7675万1千円

令和5年度予算の特徴

持続可能な社会基盤づくりを旨とし、「地方創生・人口減少対策」、「デジタル化の推進」、「脱炭素化の推進」を重点項目とした令和5年度予算が編成されました。各項目の概要と主な事業を紹介します。

地方創生・人口減少対策

人口減少対策をより効果的に進めるため、「子育て」、「住まい」、「仕事」の3つの分野の施策を総合的に取り組みます。

・学校給食費の無償化（令和5年4月から、小・中学校等の給食費を完全

無償化）

・ひたちマイホーム取得助成（市内に住宅を取得した若年夫婦世帯・子育て世帯等に助成）

・市内中小企業における人材確保支援（市内中小企業に高校新卒者等が就職した場合の就職祝い金制度の創設や、外国人材の確保に対する補助等）

デジタル化の推進

市民サービスの更なる向上や行政運営の効率化を図るため、「デジタル化」を積極的に推進します。

・情報教育環境の整備（小・中・特別支援学校の全ての普通教室に「電子黒板」を配置）

・公共交通事業者に対するDX支援（路線バスにおけるキャッシュレス決済対応機器の導入を支援）

脱炭素化の推進

市民や企業における脱炭素活動の支援、公共施設への再生可能エネルギー導入など、「脱炭素化」への取組を進めます。

・中小企業の脱炭素経営に対する支援（脱炭素経営に関する専門家の診断や設備の導入等を支援）

・公共施設における再生可能エネルギーの導入等の計画策定（公共施設における再生可能エネルギーの導入・管理・運用計画を策定）

人事案件

◇人権擁護委員候補者推薦に同意

大友 正徳 氏
中村 修一 氏

伊藤 智毅 議員 (ひたち未来)

常陸多賀駅周辺地区整備
―道路網と駅舎及び周辺
整備事業の進捗と見通し―

議員 常陸多賀駅の駅舎及び自由通路や周辺地区の整備によって若者や子育て世代、高齢者などが集まり、遊び、買い物や休憩ができるスペースの確保が求められている。

策定中の常陸多賀駅周辺地区のランドデザイン等における事業概要や進捗などについて伺う。

特に、ホームへのエスカレーターは必置の設備であると考えるがJR側との調整の経過や設置の可能性について伺う。

また、導入機能案で示されている「図書機能」程度ではなく、老朽化した多賀図書館の移転なども視野に入れた駅前整備を進めるべきだと考えるが、見解を伺う。

都市建設部長 常陸多賀駅周辺地区整備計画に基づき、自由通路橋上型駅舎、駅東側の広場、南北アクセス道路などを整備するとともに、駅西側での魅力ある駅前空間の形成を計画している。
魅力ある駅前空間の形成に向けては、年内を目途にランドデザインの方針を進めている。

(録画配信)



鉄道事業者との協議において、本市から、ホームへのエスカレーター設置や、にぎわいを誘導できる自由通路及び周辺空間の整備などを要望し、前向きな回答を得ていることから、今後、詳細を検討することとなる。

また、駅周辺に図書・学習機能の導入を望む声が数多くあることから、多賀図書館の移転も含め、図書・学習施設の導入可能性について、ニーズや社会情勢を見極め、関係機関や民間事業者にもアプローチしながら検討していく。



常陸多賀駅周辺地区

その他の質問

- 三・一一の教訓からこれからの災害対策
- 日立市財政の健全性
- 学校統廃合

助川 悟 議員 (民主クラブ)

サイクルツーリズムの推進
―観光モデルコースの設定について―

議員 自転車を活用した観光であるサイクルツーリズムは、コロナ禍でますます注目される観光スタイルになった。

短時間で見て回れる小規模な施設や自然の景観が多く点在する本市は、風を感じながら自転車で移動を楽しむ観光スタイルが提案できるのではないかと考える。

市外の方が車で来ても気軽に楽しむことができるよう、駐車場が整備されている国民宿舎鶴の岬や久慈サンピア日立にレンタサイクルの拠点を整備し、市内の名所や休憩場所、食事処などの紹介も含めた、四季を感じることをできる観光モデルコースを設定することについて、見解を伺う。

産業経済部長 本年度は、本市独自にサイクルツーリズム推進検討懇話会を立ち上げ、普段あまり自転車に乗らない方でも楽しく安全に、文化財を含めた地域資源や観光施設を巡り、本市の魅力が体感できる周遊コースの設定について検討を重ねてきた。

(録画配信)



出拠点となる場所やe-バイク(電動アシスト機能付きのスポーツタイプ自転車)を含めた貸出自転車の種類、利用料金などの検討を進めており、3月下旬には、貸出拠点の一つとして想定する久慈サンピア日立に、自転車6台を配置し、無料で貸し出す予定である。観光モデルコースの設定については、本市のサイクルツーリズムの魅力づくりの一つとして、四季折々にサイクリングによる観光が楽しめ、サイクリストに優しい環境となるよう、引き続き検討を進めたいと考えている。



日立市内のサイクリング

その他の質問

- コミュニティ活動の活性化

各議員の質問と答弁を要約して掲載しています。
QRコードを読み取ると、一般質問の録画配信を全て御覧いただけます。
日立市議会では、3人以上の議員で会派を結成することになっており、
3人未満の場合は無会派と表示しています。

石井 仁志 議員 (ひたち未来)

東海村周辺の放射性物質の総量
—燃料などの放射性物質—

議員 東海第二発電所から約5kmの位置は、原発事故による広域避難計画のPAZ（予防的に避難等を行う区域）圏内である。本市南部の約2万3千人がPAZ内に居住しており、残りの市内ほぼ全域がUPZ（緊急防護措置を準備する区域）に指定されている。

この地域で最多の放射性物質を保有しているのは、日本原電の東海第二発電所であると推測する。現在は停止を余儀なくされているが、再稼働に備えてすぐに動かせるだけの燃料を保有している。そこで、市が把握している東海第二発電所の核燃料物質の総量について、使用前、使用済の燃料集合体などの種類ごとに伺う。また、使用済燃料の処理予定について伺う。

総務部長 本市では、日本原電の東海第二発電所など、10か所の原子力事業所と、原子力施設周辺の安全確保及び保全に関する協定を締結している。

市はこの協定に基づき、県や周辺市町村と連携して原子力事業所

(録画配信)



への立入調査を実施しているほか、定期的に提出される運転状況報告書から、放射性物質の保有量等を把握している。

東海第二発電所が保管している燃料集合体は、令和4年12月時点で、燃料プールにおいて、使用済燃料が1250体、原子炉から取り出した燃料が764体、新燃料が188体の合計2202体あるとされている。

また、使用済燃料の貯蔵施設には、ドライキャスクと呼ばれる容器に格納した燃料集合体が915体保管されていることから、東海第二発電所が保管する燃料の総量は、3117体と把握している。なお、使用済燃料は原則として、原子炉等規制法に基づき、指定を受けた国内再処理事業者へ搬出する予定だが、時期は未定であるとの報告を受けている。



東海第二発電所

篠田 砂江子 議員 (公明党)

保育園・幼稚園・認定こども園の通園バスの安全対策
—バス車両内の安全装置設置について—

議員 通園バスの園児置き去りの再発防止のため、国は、今年4月からバス車両内への安全装置の設置と、施設の安全計画の策定を義務付けることとした。

また、設置が義務化されるブザーなどの安全装置について、1台当たり17万5千円を上限に費用を補助し、6月末までの設置完了を目指している。

国の補助はあるものの、全国一律の取組になると、安全装置が不足することも考えられ、機能が不十分な装置の設置によって、うまく作動しないケースが発生する懸念がある。

本市におけるバス車両内への安全装置設置後の確認等をどのように進めるのか伺う。

保健福祉部長 安全装置については、業者に注文が集中し、一時的な供給不足も考えられることから、国は経過措置として、令和6年3月31日までを期限に、安全装置が車両に設置できるまでの間は、チェックリストによる確認など、

(録画配信)



安全確認のための人的な代替措置による対応を認めている。なお、安全装置については、国が示す性能適合製品リストから選択することとなる。

設置後の市としての確認については、現地調査により安全装置の作動状況を確認するとともに、各園の職員による人的な対応についても、改めて国のマニュアル等に基づく対策が適切に行われているか確認し、児童の安全確保の徹底を図っていく。



その他の質問

● 中学生の制服

下山田 幹子 議員 (公明党)

市民が安全安心に集える
— 助川交流センターの
交流センター
— 駐車場拡充について —

議員 近年、助川交流センターには、高齢者や学区外からの利用者が自家用車で来館することが多いが、駐車スペースが9台分しかないため、すぐに満車になり、近隣の有料駐車場に自己負担で駐車する方がいると伺った。

助川交流センターは市街地に整備されたため、駐車場用地の確保が難しかったと思われるが、近隣の交流センターと比較すると駐車台数や身体障害者用駐車場などに格差を感じる。

助川交流センターがコミュニティ活動の拠点として、誰もが楽しく安全安心に利用できる全世代の居場所となるよう、身体障害者用駐車場を含めた駐車場を拡充すべきであると考えているが、見解を伺う。

生活環境部長

助川交流センターは、今年度から推進している日立市コミュニティ活動推進行動計画に基づき、気軽に立ち寄れるフリースペースの設置や、施設予約システムの導入に向けた取組なども進めていることから、今後、利

用者が徐々に増加していく見込みである。

加えて、駐車場の確保を求める利用者などの声や立地条件を踏まえると、助川交流センターの駐車場を拡充する必要性は高いものとして認識している。

助川交流センター周辺には民間駐車場も多いことから、引き続き関係課所と連携し、周辺の土地の動向を踏まえながら、歩行が困難な方の優先駐車スペースの確保や民間駐車場の活用も含めた駐車場の拡充についての検討を進め、市民が安全安心に集うことのできる施設整備に努めていく。



助川交流センター駐車場

その他の質問

● 出産・子育て応援事業

(録画配信)



小林 真美子 議員 (無党派)

原子力災害時に
市民を守る取組
— 安定ヨウ素剤の配布
について —

議員 先日、県の原子力安全対策課が発行する「原子力広報いばらき」が新聞折り込みにより配布され、東海第二発電所の安全性の検証報告や、原子力災害に係る避難計画の策定状況が掲載された。

「原子力広報いばらき」では、各市町村の広域避難計画において、「安定ヨウ素剤の緊急配布場所」を示すとしている。安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素による甲状腺内部被ばくの低減効果がある服用時期が限られているため、配布場所が重要である。

市では、原子力災害時に安定ヨウ素剤をどのように配布するのか。また、安定ヨウ素剤の配布率を向上させるための平常時の取組について伺う。

総務部長

安定ヨウ素剤の緊急配布場所は、各地域の一時集合場所を想定しているが、より確実に配布できるように、避難経路上の公共施設なども検討していく。

また、平常時については、県と共同で事前配布会を開催している

ほか、市内外の84の指定薬局においても薬剤を受け取ることができるよう仕組みを構築するなど、配布率向上に取り組みとともに、これらの取組を市報や市ホームページなどの様々な媒体で紹介し、周知に努めている。

今後も引き続き県と連携し、安定ヨウ素剤の配布率の向上に努めていく。



安定ヨウ素剤 (左:丸剤、右:ゼリー状剤)

その他の質問

- 第9期介護保険事業計画
- 日立市内のモータープール
- コロナ禍及び物価高騰から中小企業・小規模事業者を守る支援

(録画配信)



藤森 結花 議員 (日立市政クラブ)

(録画配信)



保育所等利用待機児童の現状と今後の取組について

議員 市内の子育て世代の方から意見を伺った際、待機児童に関して2つのケースが多く出された。1つ目は、仕事が決まり、入園を申し込んだものの、待機児童になつてしまい、入社を遅らせたり、仕事をあきらめたケース。

2つ目は、多子世帯の方で保育の受入れ先が複数に分かれてしまい、仕事をしながらの日々の送迎が大変となったケースである。

本市においても少子化により就学前児童が減少していく中で、幼稚園・保育所の増設や認定こども園への移行、定員の底上げなどの対策により、4月時点での待機児童の発生はないが、年度途中に発生する傾向がある。仕事と子育ての両立に向けた支援を推進する本市において、「子育ては日立市で！」とPRするために、待機児童解消は不可欠と考える。待機児童の現状と今後の取組について伺う。

保健福祉部長

本市の待機児童の現状については、年度当初は待機児童がゼロだが、年度途中には、育児休業からの職場復帰に伴う入園希望者が増えることから、国の

基準の範囲内で定員を超える受入れを行っている。

令和5年3月1日現在、主に0歳から2歳児の25人の待機児童が発生しているが、4月1日の入園調整により解消する見込みである。

2人以上の子の入園を希望する家庭は、入園調整の際に加味しているが、園の状況により、そろつての入園が難しく、一度違う園に入園してから希望園への転園待ちをお願いする場合もある。

保育定員の確保のため、みやた認定こども園の新園舎建設や私立保育園の増設などを進めてきた。

また、慢性的な保育士不足が課題であることから、私立園における保育士の処遇改善を推進するほか、国や県の補助等を活用して、保育士の負担軽減を図っている。

引き続き、認定こども園への移行促進や施設整備等による保育定員の拡充を進めるとともに、更なる保育士確保を図り、年間を通じて待機児童が発生しないよう取り組んでいく。

その他の質問

- こども家庭庁の設置と市町村の対応
- コロナ禍における不登校の現状と多様な学び

今野 幸樹 議員 (日立市政クラブ)

(録画配信)



安全・安心なまちづくり ―茨城県警察 への取組― 「ひばりくん防犯メール」 の利用促進に向けた取組

議員 「ひばりくん防犯メール」

は、県民を身近な犯罪から守るために、犯罪の発生や防犯に関する情報、交通事故の情報、県警からのお知らせなどを希望者にメールで配信するサービスである。

その内容は、不審者や声かけ事案の情報、二セ電話詐欺、ひったくりなどの犯罪の発生情報、行方不明者等の情報、交通事故情報や事故防止への注意喚起など多岐にわたり、情報も迅速かつ正確である。また、登録者は県内の警察署を指定して情報を受信することができる。

県警においても登録者の増加に努めているところだが、小中学生の保護者が各学校のメール配信システムに登録するタイミングで、併せて「ひばりくん防犯メール」の登録もお願いするなど、さまざまな機会を通して利用促進に向けた取組を積極的に行うことで、市民の安全安心につながると考えるが、見解を伺う。

総務部長

ひばりくん防犯メールは、市が提供している不審者情報以外の各種情報を警察から受け取ることができ、利便性が高く、犯罪防止に大きく寄与する有効なツールであると認識している。

これまでも、利用促進の取組として、市内の自警団を対象とした各種講演会や講習会の際に、ひばりくん防犯メールの効果や登録方法などについて紹介するほか、市ホームページに県警のサイトにつながる記事を掲載し、周知を図っている。

市としては、このメールの利用者が増えることは、個人の意識の変化だけではなく、地域における防犯活動の推進にもつながるものと考えていることから、市内の小中学生の保護者への利用案内を行うほか、JR各駅やショッピングモールなどで開催している防犯の啓発キャンペーンや、市が主催する各種のイベントなど様々な機会を捉え、利用促進に努めていく。

その他の質問

- 敬老高齢者元気応援事業
- 地域担当職員制度の導入
- 消防組織力の強化
- 市民・日立市・未来のために働く職員力・組織力の強化

豊田 茂 議員 (民主クラブ)

タブレットを活用した
教育の充実
— ICT 支援員等の
増員について —

議員 本市では、児童生徒が ICT を効果的に活用できるように、4人の ICT 支援員が学校へ訪問し、操作支援や研修を行っているが、教職員は従来の授業に加え、ICT を活用した授業の準備などによる負担増や、相談したいときに支援員がいないとの声がある。

文部科学省の研究会によると、ICT 支援員の活用や教職員の研修が進んでいる地域ほど、教職員の ICT 活用指導力が高いという分析結果もある。

タブレットの活用を推進するためには、教職員の負担軽減や、児童生徒への操作支援等を一層充実させる必要がある。ICT 支援員の増員や、企業 OB などが活躍する日立理科クラブのような組織の創設が必要ではないか。
ICT 支援員等の増員について
見解を伺う。

教育部長 ICT 支援員は、1校当たり小学校は月2回、中学校は月1回、学校を訪問している。令和4年9月の調査では、ICT

(録画配信)



支援員の訪問回数について、40校中27校が「十分」、13校が「もっと訪問してほしい」と回答した。

「もっと訪問してほしい」と回答した13校のうち9校が小学校であり、小学校のほうがタブレット等の ICT の活用を必要としている。

特に、小学校低学年では、タブレットの操作方法等を身に付けるために手厚い支援を要する場面もあるため、ボランティア等の必要性も感じている。

本市には IT 関連企業や大学があり、ICT の知識をもった人材が豊富であるので、御協力いただける可能性もあると考える。

そのため、授業でのボランティアの受入れも視野に、実現可能な支援体制を検討していく。



ICT 支援員による授業のサポート

その他の質問

● 十王地区のにぎわいづくり

添田 絹代 議員 (公明党)

小木津駅周辺の課題
— 小木津駅前への
交番移設について —

議員 近年、市内各駅の周辺整備が進んでいるが、市内北部の小木津駅周辺については整備の取組等が具体化されていない。

平成22年6月定例会において「常陸多賀駅前及び小木津駅前への交番移設に関する陳情」が採択され、常陸多賀駅前への交番移設については駅前広場再整備事業により実現した。

小木津駅前への日高交番の移設については、これまでも多くの要望が寄せられており、会派からも毎年要望している。小木津駅周辺の安全安心を確保し、犯罪の抑止効果を高めるためにも、ぜひ県に働きかけて実現させたいと考えるが、見解を伺う。

総務部長 安全安心なまちづくりを推進するため、交番の存在は大変重要なものである。特に、通勤・通学者など多くの人が行き交う駅前周辺に交番が設置されていることは、利便性や治安効果が高いものと認識している。
小木津駅前への日高交番の移設については、市としても、平成17

(録画配信)



年度から県及び県警本部に要望してきたが、県警本部の見解として、交番の建て替えや移転は、犯罪の発生件数や犯罪情勢、建物の耐用年数などを総合的に考慮しながら進めていることから、耐用年数が残り約20年ある日高交番の現時点での移設は厳しいとのことだった。しかしながら、駅前への交番移設は、地域住民の安心感につながることから、今後も早期実現に向けて、県及び県警本部に対し、継続して粘り強く要望していく。

また、引き続き市の防犯サポートによるパトロールや警察等の関係団体との連携を図りながら、防犯体制の充実に努めていく。



日高交番

その他の質問

● 公立小中学校のバリアフリー化
● 市営住宅共用部分の照明器具の LED 化

特別委員会の開催状況



千葉 達夫 議員（無会派）

県産業廃棄物最終処分場の整備 — 大型トラックの通行 —

議員 県産業廃棄物最終処分場の整備に伴う大型トラックの通行ルートについて、「通学路となっている梅林通りなどの生活道路を通るのか」、「どれくらい台数が通るのか」という疑問がある。

また、埋立予定地について、県の基本計画では、現地にある石灰岩の採掘すりなどを使うとのことであったが、「現地にあるものだけで足りるのか」、「外から土砂を運んでくるのではないか」という懸念がある。

工事に関する大型トラックの通行について、県から説明を受けているのか。まだ受けていない場合は説明を求めるべきであると考え、見解を伺う。

生活環境部長 県は、令和2年度から実施してきたフォロワーアツプ説明会や市民報告会などにおいて、新処分場の建設工事に伴う大型トラックなどの工事車両が梅林通り及び県道37号を通行することや、周辺地域の安全確保の徹底及び生活環境に配慮した工事計画とすることを説明した経過がある。



さらに、県は昨年10月の地元コミュニティ主催の集会に出席し、工事に使用する部材の種類や数量、工事車両台数、工程などについては、新処分場の実施設計の中で明らかになるとの見通しを示したほか、埋立地の造成時に鉱山内の土砂を利用することで工事車両台数を減らし、交通への影響を低減するなど、周辺的生活環境に配慮した工事計画とすることを説明している。

本市としては、今後も引き続き県及び県環境保全事業団と緊密に連携し、住民への丁寧な説明や広報を行いながら、安全性を最優先した施設整備が円滑に推進するよう、しっかりと対応していく。



その他の質問

- 市民が安心して歩くことができる街灯の設置
- 安全に利用できる南部図書館

幹線道路整備促進特別委員会(3月14日)

現地調査（鮎川停車場線）を実施したほか、議案2件（予算1件、補正予算1件）を審査し、いずれの議案も原案を認めました。



審査の概要

金沢町地内の山側道路から常陸太田市の幡町を結ぶ道路の本市施工区間に関する経費や、（仮称）真弓トンネル整備事業に係る本市負担金等について説明を受け、質疑を行ったほか、県事業の現地を調査し、進捗状況について確認しました。



ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会(3月15日)

ジャイアントパンダ誘致に関する取組やかみね公園の魅力向上に向けた取組について報告を受け、質疑を行いました。

主な取組内容

- ・ 中華人民共和国駐日本国大使館への訪問
- ・ ジャイアントパンダ講演会等の開催
- ・ かみね公園駐車場実態調査の実施

新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会(3月15日)

茨城県から、新産業廃棄物最終処分場の整備に関し、取組状況等について報告を受け、質疑を行いました。

主な報告内容

- ・ 新処分場整備及び関係道路の整備
- ・ 環境学習施設基本計画検討委員会の検討状況について
- ・ 生活環境影響調査の取組状況について

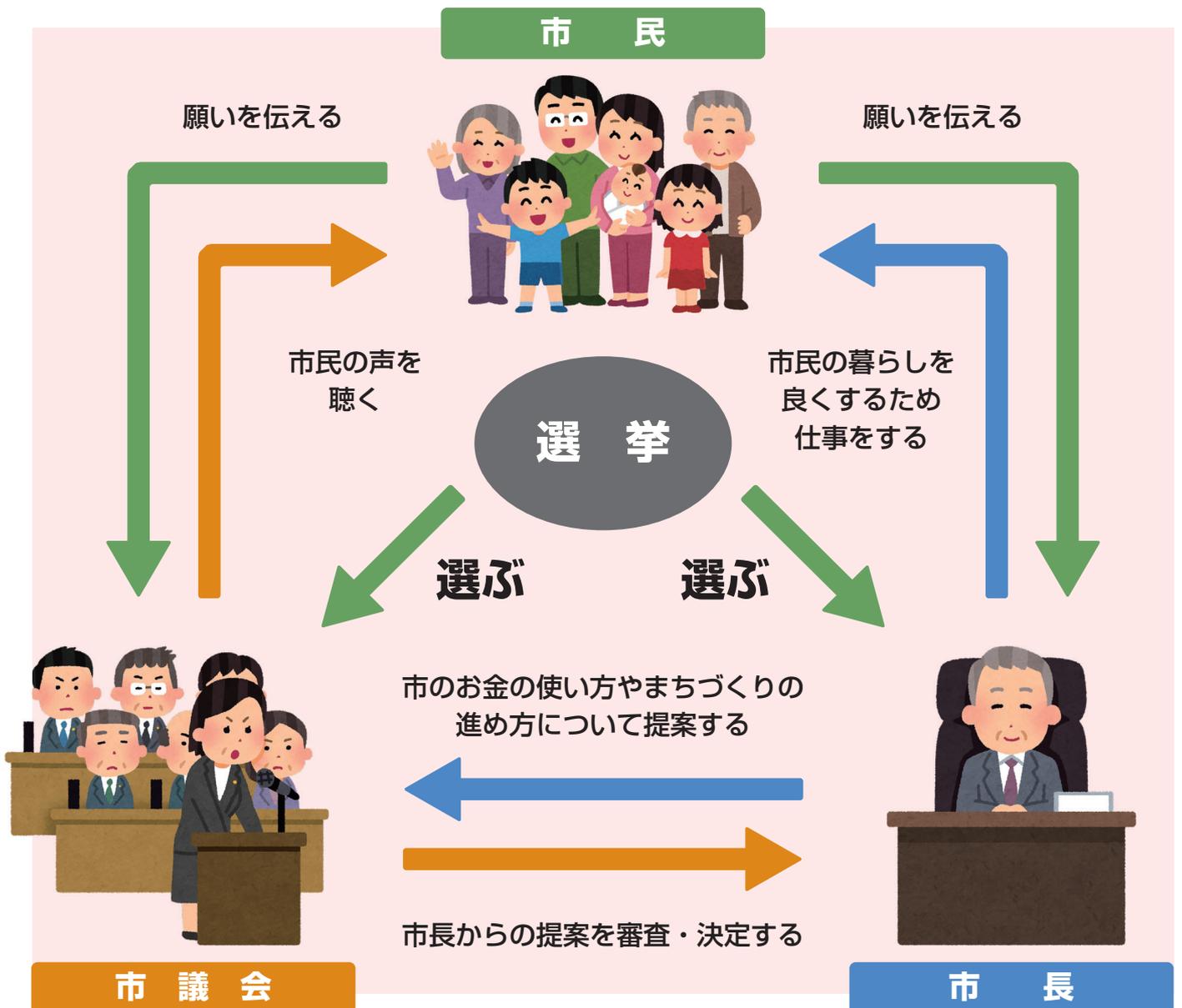
※会議の概要は、ホームページに掲載しています。



市議会ってなに？

私たちの日立市を「住みよいまち」にするためには、市民全員で話し合うことが望ましいですが、実際には難しいことです。そこで、日立市民の代表者を選挙で選びます。この代表者が市議会議員と市長です。

市議会議員は、市民生活を豊かにするために話し合いを行い、まちづくりの方向性を提案したり、市のお金の使い道などを決定します。これが市議会です。



このように市議会と市長はお互いの意見を出し合い、協力して市民がよりよい暮らしができるように努めています



選ばれた市議会議員はどんな活動をするの？



地域の問題解決

福祉、生活環境、道路整備等の地域の様々な問題について、議会で質問するなど市に解決を求める取組を行っています。



市民生活相談

市民の困りごとや市に対する要望などについて相談を受けます。

市民と情報を共有することはとても重要です。市民の声を聴くことに努めます。



議会活動報告

活動内容や市政に関する考えについて、市民に対して説明や報告をするなど、市民に情報を発信しています。



研修参加

様々な課題の解決に向けて、調査研究をしたり、研修会に参加しています。

市民の意思をもとに議会活動を行います。

議決

条例の制定や予算など、市の仕事の進め方を決定しています。

賛成
反対

市の仕事をチェックする

正しく仕事が行われているか、市政をチェックし、改善を求めます。



議会日誌

3月

2月

1月

- 1日.. 第1回市議会定例会開会(予算案概要説明、議案説明)、議会運営委員会
- 6日.. 本会議(議案説明、一般質問)、議会運営委員会
- 7日.. 本会議(一般質問、委員会付託、請願文書表付託)、広報広聴委員会
- 8日.. 総務産業委員会・委員協議会、教育福祉委員会・委員協議会
- 9日.. 総務産業委員会・委員協議会
- 10日.. 環境建設委員会・委員協議会
- 13日.. 環境建設委員会・委員協議会
- 14日.. 幹線道路整備促進特別委員会
- 15日.. ジャイアントパンダ誘致推進特別委員会、新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会
- 16日.. 議会運営委員会
- 17日.. 第1回市議会定例会閉会(各委員長報告、討論、議案説明、表決)

- 5日.. 広報広聴委員会
- 19日~20日.. 茨城県市議会議長会定例会
- 24日.. 議会運営委員会
- 15日.. 茨城県市議会議長会第2回議員研修会
- 16日.. 総務産業委員協議会、教育福祉委員協議会
- 17日.. 環境建設委員協議会
- 22日.. 議会運営委員会
- 27日.. 議会運営委員会

地の利を生かした政策に期待



田尻町 福島 洋治

今回を含め、これまで議場で1回、インターネット中継で2回、議会を傍聴しました。

いずれも、日立市各所での課題を吸い上げ、精査・熟考された様子がよく伺えます。

また、分かりやすい表現に留意されており、ありがたく感じました。

さて、この機会をお借りして、私が以前より感じていることを述べさせていただきます。

私は山口県に20年、大阪府に10年、そして、日立市に40年暮らしてきましたが、日本中で日立ほど自然環境に恵まれたところはないと感じています。西の地域では毎年夏季に数回来る台風や猛暑、北の地域では冬季の大雪や寒波など、対策に大変な労力と費用をかけざるを得ない自然の試練が、ここ日立にはほとんどありません。日立に生まれ育つとこの利点が当たり前で分からなくなってくると思います。

この地の利を生かした対応や政策が何かないものかと考えますが、残念ながら私には思いつきません。そこで勝手ながら、皆さんのアイデアに期待できればと思うこの頃です。

議会を傍聴しませんか

議場には、傍聴席が65席（うち親子席3席、車椅子席2席）あります。

会議はどなたでも傍聴することができますので、ぜひお越しください。詳細については、議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎ 0294-22-3111（内線371、372）
IP電話 050-5528-5113（直通）

傍聴の際は次の事項をお守りください

- 携帯電話・スマートフォン等の電源はお切りください。
- 傍聴席では静粛にしてください。
- 傍聴席での飲食はできません。
- 議場で写真等を撮影する場合は許可が必要です。

次回 6月定例会の予定

6月定例会の日程については、4月23日に行われる日立市議会議員一般選挙の後に決定する予定です。

詳しい日程は、日立市議会ホームページ、日立市報、行政放送などでお知らせします。

今号の表紙は

令和5年4月28日にリニューアルオープンを迎える日立駅前大型商業施設「ヒタチエ」は、生活雑貨を扱う無印良品や食品スーパーのいばらきコープ、アウトドア用品などの多彩な店舗のほか、フードコート、屋内型子どもの遊び場「Hiタッチらんど・ハレニコ！」などを兼ね備えた施設です。

また、5月1日（月）からは、ヒタチエの1階に市役所の出張所「さいわい幸ステーション」が開設されます。祝日、年末年始を除く毎日、午前10時30分から午後7時まで開所します。主な業務として、住民票の写しなどの証明書発行のほか、各種申請・届出や、市税や上下水道料金などの収納を行います。



オープンに向けて整備しています！

議会中継

ケーブルテレビ(JWAY)、FMラジオ(FMひたち)、パソコン・スマートフォン・タブレット(日立市議会ホームページ)で本会議が視聴できます！

※ホームページでは、本会議の日の約1週間後から録画配信を行います。

日立市議会



発行：日立市議会

〒317-8601茨城県日立市助川町1-1-1
☎0294-22-3111(内線371,372)
IP電話 050-5528-5113(直通)
E-mail gikai@city.hitachi.lg.jp

編集：広報広聴委員会

委員長／吉田 修一 副委員長／杉本 和子
委員／堀江 紀和 豊田 茂 篠田 砂江子 下山田 幹子 今野 幸樹 伊藤 智毅